

DENON

FULLY AUTOMATIC
DIRECT DRIVE TURNTABLE SYSTEM

フリーオートマチックダイレクトドライブターンテーブルシステム

DP-32F

取扱説明書



本機の機能を十分に発揮させて効果的にご使用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みの上、正しくご愛用くださいますようお願いいたします。尚、万一ご使用中にわからないことや不具合が生じたときのために、お読みになったあと、必ず保存してください。

特 長

- 1. 軽質量ストレートアームの採用**
すぐれたトレース能力をもつハイコンプライアンスカートリッジの性能をフルに引出し、最新のハイグレードなレコードに対しても余裕十分なトレース能力を発揮します。
- 2. 新開発のMC型カートリッジDL-32を装備**
精円針付軽自重MCカートリッジDL-32の装備により、トレーシングひずみを軽減しクリアなサウンドを再生します。
- 3. 新開発のトーンアームフロート方式の採用**
トーンアームを振動的にキャビネットからフロートし、ハウリング等による音のにごりを効果的に抑えました。
- 4. 電子制御による無接触サーボトーンアームを搭載**
独自の無接触電子制御サーボトーンアームをマイクロプロセッサで制御する方式の採用により、音質劣化のない使い易く安全性の高いオート動作を可能にしました。
- 5. 電子式ダンピング方式の採用（Qダンピング）**
カートリッジのコンプライアンスとトーンアームの実効質量による低域共振を電子的にダンピングし、クロストークの悪化や混変調ひずみの増加を効果的に抑制して、軽量アームの特長を最大限に発揮させ音像定位が良く、雑音やひずみの少ないレコード再生を実現しました。
- 6. 新開発リニアドライブMFモーターを搭載**
ターンテーブルとローターの重量がピボットに加わる荷重をマグネットとステーターヨークの吸引力で軽減するマグネフロート方式の採用により、ピボット部の摩擦を軽減し、なめらかな回転性能を維持します。
- 7. 両方向サーボ DENON クォーツの採用**
磁気記録検出方式とクォーツロックの組合わせに、さらに両方向サーボを追加し、極限ともいえる回転精度を実現しています。

安全上のご注意

- 1. 電源コードは大切に**
電源コードは傷つけたり、加工したりしないでください。また、プラグを抜くときは、コードを引っばらずに必ずプラグを持って抜いてください。
- 2. 裏ぶたを開けないでください**
感電防止のため、ネジ類をはずして裏ぶたを開けないでください。万一、不都合が生じた場合には、お買上げ店、または最寄りの弊社サービスセンター、営業所にご相談ください。
- 3. 内部に物を入れないでください**
プレーヤーの内部に金属物を入れたり、液体をこぼしたりしないでください。感電や故障の原因になります。

使用上のご注意

- 1. モーターに注油は不要**
モーター軸受部には特殊オイルが注入されていますので、注油の必要はありません。
- 2. 留守にするとき**
外出、旅行などで長時間ご使用にならないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いておいてください。
- 3. 殺虫剤、化学雑きんにご注意**
一般市販の殺虫剤、ベンジン、シンナーなどが付着しますと、変色したり変形しますのでご注意ください。また、ホコリなどをふきとるときは、やわらかい布（シリコンクロス）を使い、化学雑きんの使用は避けてください。変色したり塗装がはがれることがあります。

ステレオ音のエチケット

- ◎楽しい音楽も、時と場所によっては気になるものです。
- ◎隣り近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- ◎ステレオの音量は、あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。
- ◎特に静かな夜間には、小さな音でも通りやすいものです。
- ◎夜間の音楽鑑賞には特に気を配りましょう。
- ◎窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。
- ◎お互いに心を配り、快い生活環境を守りましょう。

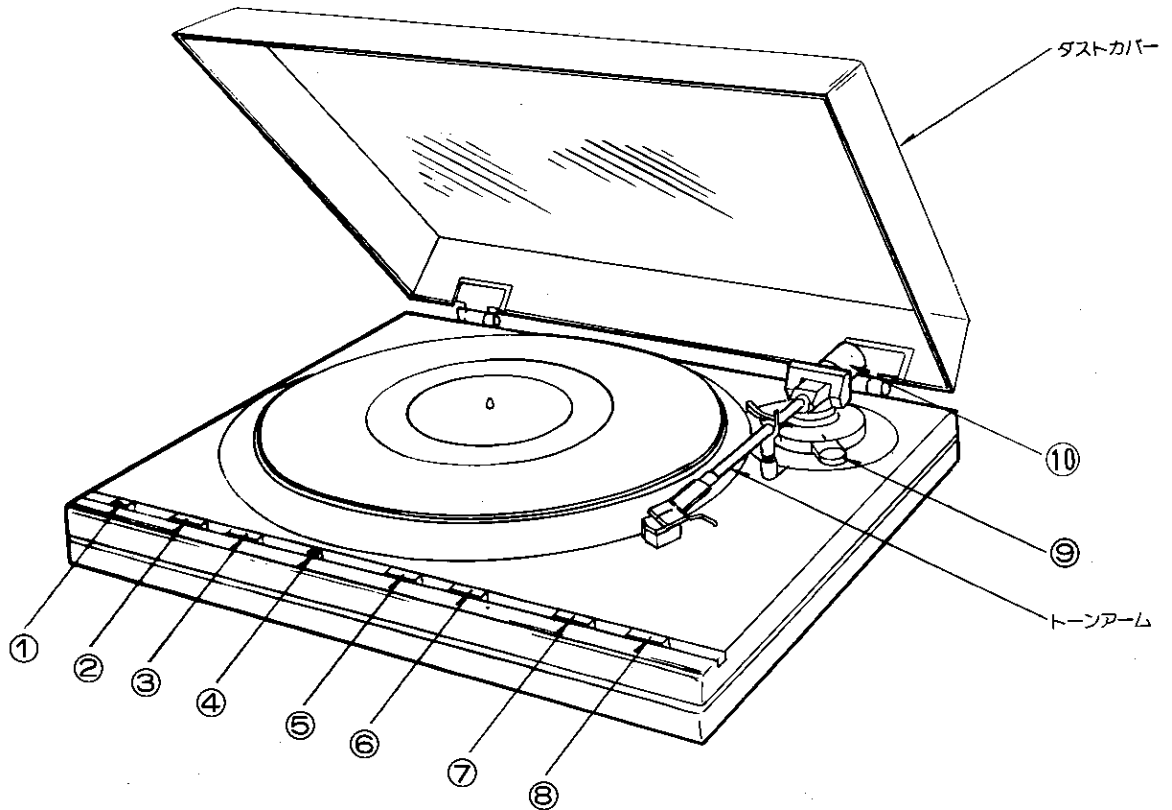
【チューナーに雑音が入るとき】

本機をご使用中にチューナーに雑音が入る場合には、互いに離すかアンテナ線を本機の電源コードより離してお使いください。

梱包箱の中には本体と別に次の品物が入っていますので、ご確認ください。

- | | | | |
|-------------------|---|------------------|---|
| ① ターンテーブルシート | 1 | ⑦ 45回転レコード用アダプター | 1 |
| ② ターンテーブル | 1 | ⑧ キャップ | 1 |
| ③ ダストカバー | 1 | ⑨ ご愛用者登録カード | 1 |
| ④ ヒンジ | 2 | ⑩ 取扱説明書 | 1 |
| ⑤ ヘッドシェル(カートリッジ付) | 1 | ⑪ 保証書 | 1 |
| ⑥ カウンターウエイト | 1 | | |

各部の名称と働き



1 電源スイッチ POWER

電源をON(▲)、OFF(■)します。

2 レコードサイズ切換スイッチ SIZE

演奏するレコード盤の大きさに合わせて切換えます。

30cmレコード盤……「30」(▲)

17cmレコード盤……「17」(■)

3 スピード切換スイッチ SPEED

演奏するレコード盤の回転数に合わせて切換えます。

33 1/3 回転レコード盤……「33」(▲)

45 回転レコード盤……「45」(■)

4 ロックインジケータ LOCK

電源がonの時、ランプが点灯します。プレイ状態でターンテーブルが規定回転になるまではランプは点滅していますが、規定回転になるとランプは再び点灯します。

5 リピートスイッチ REPEAT

繰り返し演奏するとき、スイッチをon(■)にします。

6 アームリフタースイッチ ARM LIFTER

手動演奏や、演奏中にトーンアームを上下させる場合に使用します。

7 スタートスイッチ START

自動演奏を開始するとき、このスイッチを押します。

8 ストップスイッチ STOP

演奏を中止するとき、このスイッチを押します。

9 アンチスケーティングつまみ Qダンピング

アンチスケーティングを調整するとき、このつまみを回します。(調整方法は5ページを参照)

Qダンピングも自動的に調整されます。

10 カウンターウエイト

針圧を調整するとき使用します。
(調整方法は5ページを参照)

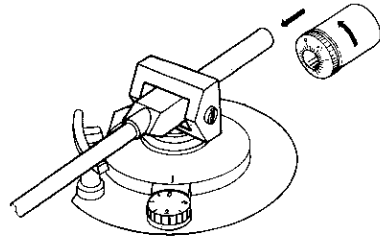
組立

1. 付属品を取出す

梱包用パッキングに入っている付属品を取出す。

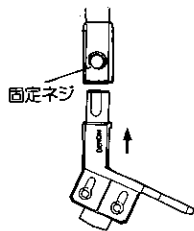
- シェル（カートリッジ付） …… 1ヶ
- カウンターウエイト …… 1ヶ
- ヒンジ …… 2ヶ

2. カウンターウエイトを取付ける



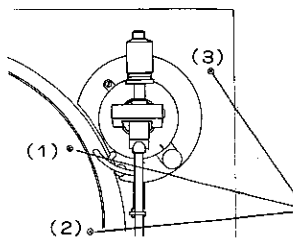
カウンターウエイトをアーム後部に挿入し、矢印方向へ2~3回、回しておく。

3. ヘッドシエルを取付ける

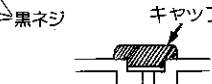


ヘッドシエルのコネクタ一部をトーンアーム先端に差込み、固定ネジをしつかり締付ける。

4. 輸送用ネジ（3本）を取外し、キャップを取付ける



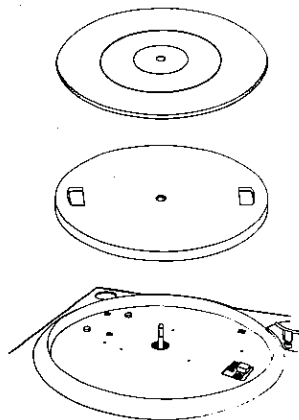
お手持のプラスドライバーにて、アームベース部の輸送用のネジ（3本）を取外し（3）の穴に付属のキャップを埋めます。



ご注意

ネジを外さないと正常な動作が得られません。引越など移動するときのため、ネジは大切に保管してください。

5. ターンテーブル、ターンテーブルシートを取付ける

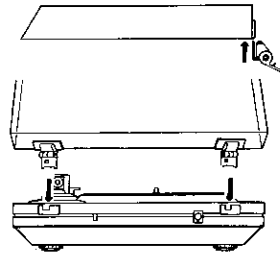


1. ターンテーブルをモーターシャフトに差込む。
2. ターンテーブルシートをターンテーブルの上にのせる。

ご注意

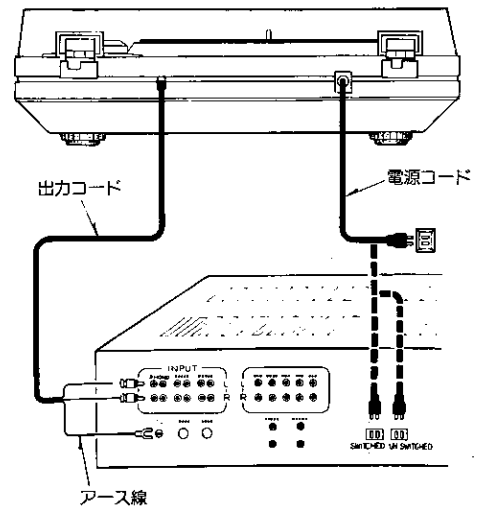
ターンテーブル表面の磁気コーティング面に傷をつけないように注意してください。

6. ヒンジ、ダストカバーを取付ける



1. ダストカバーにヒンジを差込む。
2. ダストカバーの両側を持ち、キャビネットのヒンジ受けにヒンジが止まるまで差込む。

接続のしかた



1. 出力コードのL、Rをご使用になるアンプの「PHONO」入力端子L、Rへそれぞれ接続します。

また、アース線（出力コードと一緒に付いている）を、アンプの「GND」端子へ接続します。

ご注意

付属のカートリッジDL-32はMC（ムービングコイル）型で、出力電圧は0.3mVですのでMC用の「PHONO」端子、あるいはステップアップトランス、ヘッドアンプへ接続してください。

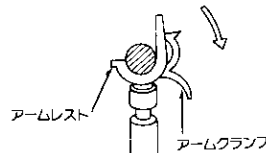
2. 電源コードを、AC100Vの電源コンセントへ差込みます。（あるいは、ご使用のアンプ等に電源コンセントがあれば、そこに差込みます。この時、アンプ等の取扱説明書を参照し、電源コンセントの電力容量が十分であることを、確認してください。）

針圧の調整

1. アームリフターを下げる

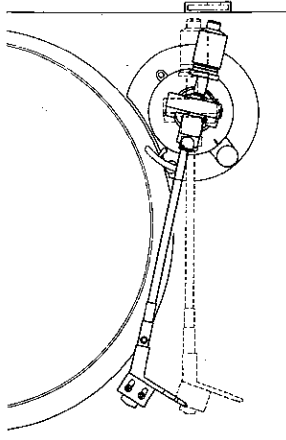
- 電源プラグをコンセントに差込む。
- 電源スイッチをon(■)にし、アームリフタースイッチを下(down(■))にする。
- 電源スイッチをoff(■)にし、電源プラグをコンセントから抜く。

2. アームクランプをはずす



トーンアームを手で持ち、アームクランプを矢印の方向へ動かす。

3. トーンアームを移動する

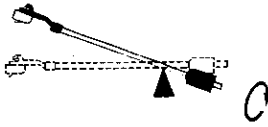


トーンアームをアームレストからはずし、ターンテーブルとの間に移動する。

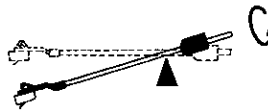
4. 水平バランスをとる



カウンターウェイトを回転させ、手を離れたとき、トーンアームがターンテーブル面と平行になるようにする

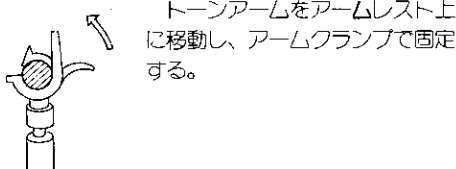


カウンターウェイトを矢印方向に回転する。



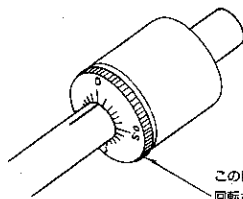
カウンターウェイトを矢印方向に回転する。

5. トーンアームを移動する



トーンアームをアームレスト上に移動し、アームクランプで固定する。

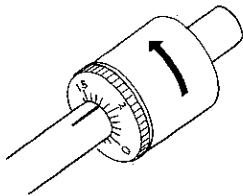
6. 針圧目盛リングを「0」に合わせる



カウンターウェイトの目盛リングの「0」を基準線に合わせる。

この目盛リングのみ回転させる

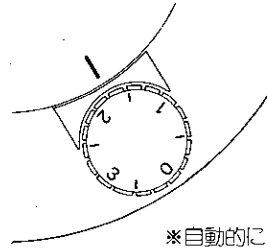
7. 針圧を加える



カウンターウェイトを矢印方向に回転し、1.8gの表示線を基準線に合わせる。(このプレーヤーに付属のカートリッジの針圧は1.8gです)

目盛リングの1目盛は0.1gです。

アンチスケーティング Qダンピングの調整



アンチスケーティングつまみを回し、針圧と同じ目盛を基準線に合わせます。(このプレーヤーに付属のカートリッジの針圧は1.8gですので、アンチスケーティング目盛も1.8に合わせます。)

※自動的にQダンピングも調整されます。

★針圧調整、アンチスケーティング調整について

付属のカートリッジ以外のカートリッジをご使用になる場合、カートリッジの取扱説明書をよくお読みのうえ、そのカートリッジの適正針圧を加えてください。なお、アンチスケーティングつまみもその針圧と同じ数値に合わせてください。

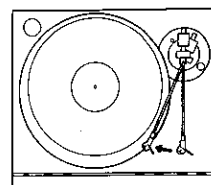
演奏方法

演奏の前に

- ① ご使用のアンプの電源をon(■)にし、切換スイッチを「PHONO」にする。
- ② レコード盤をのせ、針カバーを上げる。
- ③ アームクランプをはずす。
- ④ 電源をon(■)にし、スピード切換スイッチを、レコードの回転数に合わせて切換える。
33 1/3回転レコード盤……「33」(■)
45 回転レコード盤……「45」(■)

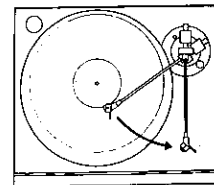
★自動演奏の場合

- ① レコードサイズ切換スイッチをレコードの大きさに合わせて切換える。
30cmレコード盤……「30」(■)
17cmレコード盤……「17」(■)
- ② アームリフタースイッチをdown(■)にする。
- ③ スタートスイッチを押す。

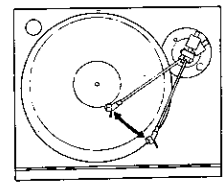


トーンアームがレコード盤上へ移動し、演奏が始まります。

- ④ 演奏が終ると、トーンアームがアームレストへ戻り、ターンテーブルが止まります。(リピートスイッチがoff(■)の場合)
リピートスイッチがon(■)の場合は、レコードサイズ切換スイッチで設定した位置へ戻り、繰返し演奏します。



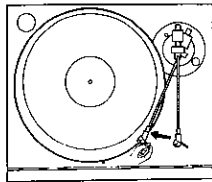
リピートoff(■)の場合



リピートon(■)の場合

★手動演奏の場合

- レコードの途中の位置から演奏する場合。
 - レコード盤の大きさが規格外の場合など。
- ① アームリフタースイッチをup(■)にする。
 - ② 手でトーンアームをレコード盤の希望の位置へ移動する。



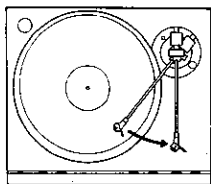
- ③ アームリフタースイッチをdown(■)にする。
- ④ 演奏が終了と、自動演奏の場合と同じように、トーンアームは自動的に戻ります。

★繰返し演奏の場合

- ① リピートスイッチをon(■)にします。
リピートを解除するまで繰返し演奏を続けます。

★演奏を途中で止める場合

- ① ストップスイッチを押す。



トーンアームはアームレストに戻り、ターンテーブルの回転が止まります。

- ② または、アームリフタースイッチをup(■)にする。
トーンアームはその位置で上がります。
ターンテーブルは回転を続けます。

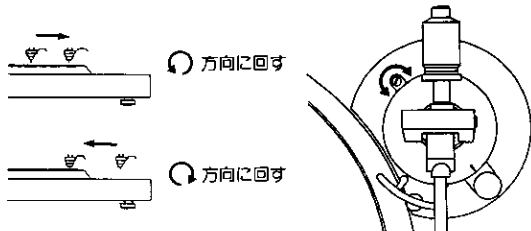


部品の交換と再調整

針先降下位置の調整

自動演奏時、針先降下位置がずれたときは、次のように調整してください。

- ① 30cmレコード盤をのせる。
- ② 自動演奏をする場合の要領で、電源を入れ(on)アームクランプをはずし、アームリフタースイッチをup(■)にし、レコードサイズ切換スイッチを「30」(■)にする。
- ③ スタートスイッチを押したまま、小型のマイナスドライバーで、レコードの導入溝のほぼ中央に針先が降下するように次の要領で調整ネジを回す。
 - 針先が内側に降りるとき……○方向に回す。
 - 針先が外側に降りるとき……○方向に回す。



- ④ スタートスイッチ、ストップスイッチを押して、正しく調整されたかどうか確認する。

針先の交換

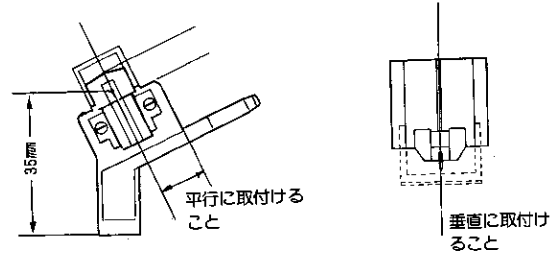
付属のカートリッジDL-32は針先固定式ですので、摩擦等で針先が不良になった場合にはお買上げ店、または最寄の弊社営業所へ現品をご持参ください。針先交換価格でお取換えいたします。

カートリッジの取付け

- リード線の色分けは次のようになっています。まちがえないように、十分注意してください。

- 赤……右チャンネル(R)
- 白……左チャンネル(L)
- 緑……右チャンネルアース(RG)
- 青……左チャンネルアース(LG)

- このプレーヤーのオーバーハングは16mmです。
図のように取付けると所定のオーバーハングになります。



- このプレーヤーのヘッドシエルに別のカートリッジを取付ける場合は、自重4.0~9gであれば取付可能です。(ビス、ナット込み)

ご注意

カートリッジを交換した場合は、針圧調整、アンチスキューティングの調整、アームリフターの調整を忘れず行ってください。

アームリフターの高さ調整

カートリッジの交換などで、アームリフターの高さ調整の必要なときは、次の要領で高さを調整してください。

- アームリフターがdownしていることを確認して電源を切る。(off)
- アームリフター固定ネジを小型のマイナスドライバーでゆるめる。
- 針カバーをはずし、レコード盤に針先をのせる。
- アームリフターを手で持ち上げ、アームパイプとのすき間が0.5mm位になるように調整し、ゆるめたネジを締付ける。
- トーンアームをアームレストに戻す。
- アームレスト固定ネジを小型のマイナスドライバーでゆるめる。
- アームレストを手で持ち上げ、アームパイプとアームリフターのすき間が0.5mm位になるように調整し、ゆるめたネジを締付ける。

故障? ちょっとお調べください。

故障かな……と思ったら、ちょっと次のことをチェックしてみてください。

スタートスイッチを押しても演奏しない

- トーンアームが移動しない……●電源スイッチがON(■)になっていますか
- アームクランプをはずしてありますか

- 針先がレコード盤におりない……●アームリフタースイッチをDOWN(■)にしてありますか
- アームリフターの高さ調整がなされていますか……………6ページ参照
- 針圧がかかっていますか……………4ページ参照

- 針先が希望する位置におりない……●カートリッジが正しくヘッドシェルに取付けられていますか……………6ページ参照
- プレーヤーが水平に置かれていますか
- 上記の項目をチェックして異常のない場合針先の降下位置を調整してください……………6ページ参照

- 音が出ない……………●カートリッジとヘッドシェルの接続は正しいですか……………6ページ参照
- 出力コードが正しくアンプに接続されていますか……………4ページ参照
- アンプのつまみ類の調整、切換えは正しいですか

- ハム雑音(ブーン)が出る……●出力コードのアース線はアンプに接続しましたか……………4ページ参照
- 出力コードのプラグは確実に接続されていますか
- ヘッドシェルは固定ネジでしっかり固定されていますか……………4ページ参照

- 針とびを起こす……………●針圧が適正針圧になっていますか……………4ページ参照
- アームリフターがアームに触れていませんか
- レコード盤がそったり、キズが付いていませんか
- 針先にほこりが多量に付いていませんか

- アームが途中で進まない……………●アームリフターの高さは正しく調整されていますか……………6ページ参照
- レコード盤にキズが付いていませんか
- アームが何かに当たっていませんか

- 音が小さい……………●カートリッジの種類(出力)に適したアンプの接続、切換えになっていますか

主な仕様

●フォノモーター部

駆動方式	サーボ式ダイレクトドライブ
回転数	33 1/3rpm, 45rpm
ワウ・フラッター	0.012%wrms以下(回転系), 0.02%wrms以下(JIS)
S / N	78dB以上(DIN-B)
起動時間	2秒以内で規定回転(33 1/3rpm時)
ターンテーブル	アルミダイカスト 直径300mm
モーター	MF(マグネフロート)モーター
スピード制御方式	周波数検出によるスピードサーボおよび位相サーボ
負荷特性	0%(針圧80g最外周)
ブレーキ方式	電子式ブレーキ
回転数偏差	0.002%以下

●トーンアーム、カートリッジ部

アーム形式	スタティックバランス・ストレー トタイプ型トーンアーム
有効長	220mm
オーバーハング	16mm
トラッキングエラー	3°以内
オート機構	電子制御フルオート
針圧可変範囲	0~2.5g/1回転(1目盛0.1g)
適合カートリッジ自重	約4.0~8g(ピス・ナット含む)
ヘッドシェル	特殊硬質樹脂専用ヘッドシェル (約3.3g)
カートリッジ	DL-32、出力電圧0.3mV、再生周 波数特性20~40KHz、 針圧1.8±0.3g、MC型
アンチスケーティング	電子式
Qダンピング	電子式

●総 合

電源	AC100V 50Hz/60Hz
消費電力	6W
寸法	(巾)424×(高さ)130×(奥行)388(単位mm)
重量	約6kg

※ 上記の仕様および外観は、改善のため今後変更されることもあります。

保証とサービスについて

1. このレコードプレーヤーには、保証書が添付されております。保証書は、所定事項を販売店で記入し、お渡し致しますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保存してください。
2. 保証期間は、お買上げ日より1年間です。保証書の記載内容により、お買上げ販売店が修理を申し受けます。その他詳細につきましては、保証書をご覧ください。
3. 保証期間経過後の修理については、販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、お客様の要望により、有料修理致します。
4. このレコードプレーヤーの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後8年です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。性能部品とは、このレコードプレーヤーの機能を維持するために必要な部品です。
5. なお、保証および修理について、ご不明の場合は、お買上げ販売店か、お近くの弊社「お客様相談センター」、または営業所、出張所(コロムビアサービス網一覧表をご参照ください)にご相談ください。

日本コロムビア株式会社

本社 〒107 東京都港区赤坂4-14-14 TEL 03-584-8111

81. 8. 5118166103

Printed in Japan

コロムビアサービス網一覽表

弊社製品についてのお問合わせ、アフターサービスについてのご相談は、お買上げ店または最寄りの下記事業所へご連絡ください。

郵便番号	所在地	電話	電話番号	所在地	電話
○札幌電機営業所	060 札幌市中央区北三条東2-2	TEL 札幌 011 09(241) 1541	○名古屋電機営業所	450 名古屋市中村区名駅南1-18-11	TEL 名古屋 052 09(583) 1621
鎮路出張所	085 鎮路市川上町6-2	TEL 鎮路 0154(23) 0491	岡崎出張所	444 岡崎市六名本町1-9-8	TEL 岡崎 0564(53) 2515
旭川出張所	070 旭川市一条1-3-右9	TEL 旭川 0166(26) 2421	岐阜出張所	500 岐阜市一本道1-6 河合ビル1F	TEL 岐阜 0582(46) 8571
函館出張所	040 函館市豊川町1-2-10	TEL 函館 0138(23) 5668	四日市出張所	510 四日市市中町1-1-6	TEL 四日市 0593(52) 8161
帯広出張所	080 帯広市東一条南7-2	TEL 帯広 0155(23) 9291	金沢電機営業所	921 金沢市横川町6-1-4	TEL 金沢 0762(42) 7151
青森電機営業所	030 青森市青柳1-1-19	TEL 青森 0177(75) 2781	富山出張所	930 富山市小泉町北部10-2	TEL 富山 0764(91) 2301
八戸出張所	031 八戸市大字尻内町字鴨田5-1	TEL 八戸 0178(27) 5325	福井出張所	910 福井市宝永2-8-24	TEL 福井 0776(21) 3959
秋田出張所	010 秋田市川尻御休町3-2	TEL 秋田 0188(63) 3636	○京都電機営業所	600 京都市下京区中堂寺庄の内町46-15	TEL 京都 075(314) 2811-5
○仙台電機営業所	980 仙台市片平1-3-30	TEL 仙台 0222(8) 254341	○大阪サービスセンター	542 大阪市南区末吉橋通り3-2	TEL 大阪 06 09(245) 3081
盛岡出張所	020 盛岡市上田3-7-24	TEL 盛岡 0196(23) 6451-2	大阪中央電機営業所	542 大阪市南区末吉橋通り3-2	TEL 大阪 06 09(245) 3061
山形出張所	990 山形市幸町7-3-4	TEL 山形 0236(22) 7614	大阪電機営業所	542 大阪市南区末吉橋通り3-2	TEL 大阪 06 09(245) 3071
郡山出張所	963 郡山市並木2-1-3-2	TEL 郡山 0249(32) 5234, 3145	和歌山出張所	641 和歌山市東高松2-9-3-6	TEL 和歌山 0734(26) 1891
石巻出張所	985 石巻市新内谷地3-7-2	TEL 石巻 02252(2) 6518-9	阪南出張所	590 堺市大浜北町3-110 タイトクビル	TEL 堺 0722(21) 7847
○新潟電機営業所	951 新潟市上大川前通3-19-2	TEL 新潟 0252(23) 6341	○神戸電機営業所	651 神戸市中央区御幸通4-2-25	TEL 神戸 078(231) 0451
長岡出張所	940 長岡市日赤町2-4-40	TEL 長岡 0258(35) 1755	姫路出張所	670 姫路市今宿1-5-7-1	TEL 姫路 0792(92) 7775
松本出張所	390 松本市大手1-7-8	TEL 松本 0263(32) 3637	○岡山電機営業所	700 岡山市野田3-1-0	TEL 岡山 0862(41) 2657
長野出張所	380 長野市川合新田3767	TEL 長野 0262(28) 6717	倉敷出張所	710 倉敷市吉岡宇南川田269-6	TEL 倉敷 0864(22) 6625
宇都宮電機営業所	321 宇都宮市駅前通り2-2-21	TEL 宇都宮 0286(34) 6371	○広島電機営業所	730 広島市中区鞆町3-6-3	TEL 広島 0822(8) 21-4321
水戸出張所	310 水戸市栄町1-10-17	TEL 水戸 0292(27) 3136-7	福山出張所	720 福山市沖野上町675 大黒ビル	TEL 福山 0849(22) 2085
土浦出張所	300 土浦市大町1-1-31	TEL 土浦 0298(21) 9221-2	徳山出張所	745 徳山市新宿通り3-21	TEL 徳山 0834(22) 1051-3
○関東電機営業所	330 大宮市宮原町2-1-27-1	TEL 大宮 0486(65) 2431	松江出張所	690 松江市西津田町407-1-2	TEL 松江 0852(21) 5440
高崎出張所	370 高崎市上佐野町字廻越1089-1	TEL 高崎 0273(23) 0220	○四国電機営業所	760 高松市亀岡町1-6-0	TEL 高松 0878(8) 614993
熊谷出張所	360 熊谷市曙町1-5-3	TEL 熊谷 0485(21) 1820	松山出張所	790 松山市天山町149-1	TEL 松山 0899(31) 3218-9
○千葉電機営業所	280 千葉市米広町3-1-7-17	TEL 千葉 0472(63) 5921-4	高知出張所	780 高知市伊勢崎町7-1-8	TEL 高知 0888(72) 4178-9
船橋出張所	274 船橋市習志野台5-11-7	TEL 船橋 0474(64) 4124-6	○北九州電機営業所	802 北九州市小倉北区馬場2-6-7	TEL 北九州 093 09(521) 6581
○東京サービスセンター	113 東京都文京区湯島3-16-11	TEL 東京 03 09(832) 5121	大分出張所	870 大分市新川町1-10-7	TEL 大分 0975(34) 7546
東京中央電機営業所	113 東京都文京区湯島3-16-11	TEL 東京 03 09(832) 5111	宮崎出張所	880 宮崎市紙園町2-117	TEL 宮崎 0985(24) 1515
東京電機営業所	113 東京都文京区湯島3-16-11	TEL 東京 03(832) 5101	○福岡電機営業所	812 福岡市博多区店屋町1-3-5	TEL 福岡 092 09(271) 4911
城南出張所	150 東京都渋谷区神宮前6-12-20 東洋ビル	TEL 東京 03(406) 0241	久留米出張所	830 久留米市上津町1690-2 第二江崎ビル	TEL 久留米 0942(22) 2122
○立川電機営業所	190 立川市富士見町1-1-2-1	TEL 立川 0425(23) 1471	佐世保出張所	857 佐世保市大和町2-0-2	TEL 佐世保 0956(31) 3208
○横浜電機営業所	231 横浜市中区松影町1-4-7	TEL 横浜 045 09(681) 8221	長崎出張所	852 長崎市橋口町1-9-9	TEL 長崎 0958(44) 1201
相模原出張所	228 相模原市相模台7-5-3-1	TEL 相模原 0427(42) 5466	熊本出張所	860 熊本市本山町6-2-7	TEL 熊本 0963(53) 3316
横須賀出張所	239 横須賀市根岸町3-1-5-19	TEL 横須賀 0468(36) 4311	鹿児島出張所	890 鹿児島市武町9-3-3	TEL 鹿児島 0992(56) 7281
小田原出張所	250 小田原市浜町3-1-1-12	TEL 小田原 0465(22) 9271	沖縄コロムビア販売株式会社	901-01 那覇市小緑1-1-8-4	TEL 那覇 0988(57) 0770
○静岡電機営業所	422 静岡市馬場1-5-12	TEL 静岡 0542(85) 9111			
沼津出張所	410 沼津市西熊堂147-3	TEL 沼津 0559(21) 3677			
浜松出張所	430 浜松市向宿町692-6	TEL 浜松 0534(61) 4707			

○印には「お客様相談センター」の窓口がありますのでご相談ください。

所在地・電話番号は変更になる場合がございますのでご了承ください。

●本社お客様相談センター TEL 東京03(584)8111 内線317
(〒107) 東京都港区赤坂4-14-14



日本コロムビア株式会社

〒107 本社 東京都港区赤坂4-14-14 TEL 03(584)8111(大代表)

〒210 川崎事業所 神奈川県川崎市川崎区港町5番1号 TEL 044(244)6111(大代表)